

Dreams Come True

発行：進路担当

進路希望調査を終えて……



先日「進路希望調査」を締め切り、集計しました。この機会に、進路についてはじめて考えたという人も多いようです。今回の調査について、下に少しまとめました。読んでみて、今後の参考にしてください。

① 提出ギリギリの人が、とても多かったです。

提出のめっ切ギリギリの人が、とても多いように思いました。また、特にギリギリに出した人に

- 記載に間違いがある（「草津」の「津」の漢字間違いや、「近江八幡高校」など存在しない学校名・学科名を書く等）
※今年については、特に「誤字脱字」「クラス番号・出席番号間違い」が多かったです。
- 修正テープを使用して訂正している（修正テープで訂正した書類は、受理されません）
- えんぴつ書きのまま出している（えんぴつ書きは、消せるので受理されません）

といったミスが多くありました。

人間、ギリギリになればなるほど慌ててしまってミスをしてしまうものです。進路の書類、特に願書については、ミスがあったら受付してもらえません。最悪の場合、受験できなくなってしまうです。そうならないように、特に今回ギリギリに出した人やミスをしてしまった人は、次回以降、早めにていねいに提出ができるように気をつけましょう。

② 「希望理由」が、あまりはっきりしていない印象を受けました。

高校の名前を具体的にあげている人が多い反面、「希望する理由」のところが「興味があるから」「家から近いから」「なんとなく」など、あまり具体的に記載できていない人が多いように感じました。

中学校卒業後、進学先が自分に合わずに途中で辞めて、別の道に進む人が一定数います。辞めてから中学校に顔を出す卒業生も多いので、話をきいていると、圧倒的に多いのは、人間関係がうまくいかずに辞めた人……ではありません。「塾に言われて学力が合うと思って行ったけど、ついていけず、このままだと留年だと言われてしまい、通信制などに進路変更した」とか、「親にすすめられて行ったけど、高校の学習内容が自分がやりたいものと違って、やる気をなくしたので私立の普通科に入りなおした」というパターンです。このパターンで辞めた人は、中学生のときに事前に学習の内容や学習のペースなどをしっかり把握できていれば、進学する前にミスマッチを防げたのでは……と思われるます。

「彼を知り、己を知れば、百戦危うからず。」といひます。自分の実力を客観的にとらえ、そして希望する進路先のことをもっと知り、ミスマッチを防ぎましょう。そのためには、高校のオープンキャンパスなどで情報を集めることが不可欠です。自分のことですから、しっかり自分で情報を集めるようにしましょう。

③ 「ここなら行けるだろう」と考えている人がいるようですが……

「希望する理由」のところでもう一つ多く気になったのが、「自分の学力に合っているから」とか、「ここなら行けるから」、あるいは「偏差値がちょうどいいから」といったものでした。自分の学力を正確に把握できている？とも思いますが……高校の合否が、そもそもどのように決められているかは知っていますか？

高校の合否の判定は、私立と県立によって異なります。進路通信 No.4 の裏面に詳しく載せていますので、ぜひ読んで参考にしてみてくださいね。